

# 当別町地域公共交通利便増進実施計画（概要）

- 当別町では、平成18年度よりコミュニティバス「当別ふれあいバス」を運行。地元企業・大学・町・交通事業者が連携して運行を開始したもので、現在では年間約14万人が利用する「地域の足」となっている。
- 一方、人手不足や運行コストの増加、立地適正化計画や観光に関する施策による住民や来訪者の移動ニーズへの対応など、交通をとりまく状況の変化に対応するため、「当別町地域公共交通利便増進実施計画」に位置付けた取組を段階的に実施し、地域公共交通ネットワークの利便性向上・持続性確保を目指す。

## 事業の内容

### ①西当別エリアのバス路線再編

- JR太美駅を中心とした西当別エリアにおいて、バス路線を段階的に再編  
(R6.4~) 新たな宅地造成に伴い増加する住民のニーズに対応  
(R7.4~) 道の駅やロイズタウン工場等へのニーズに対応

### ②青山線のデマンド化 (R7.4~)

- 青山線（路線定時運行）の一部時間帯をデマンド化を実施

### ③キャッシュレス決済の導入 (R7.1~)

- 当別町ふれあいバス全路線にてQRコードによるキャッシュレス決済を導入

## 事業の効果

### ①西当別エリアのバス路線再編

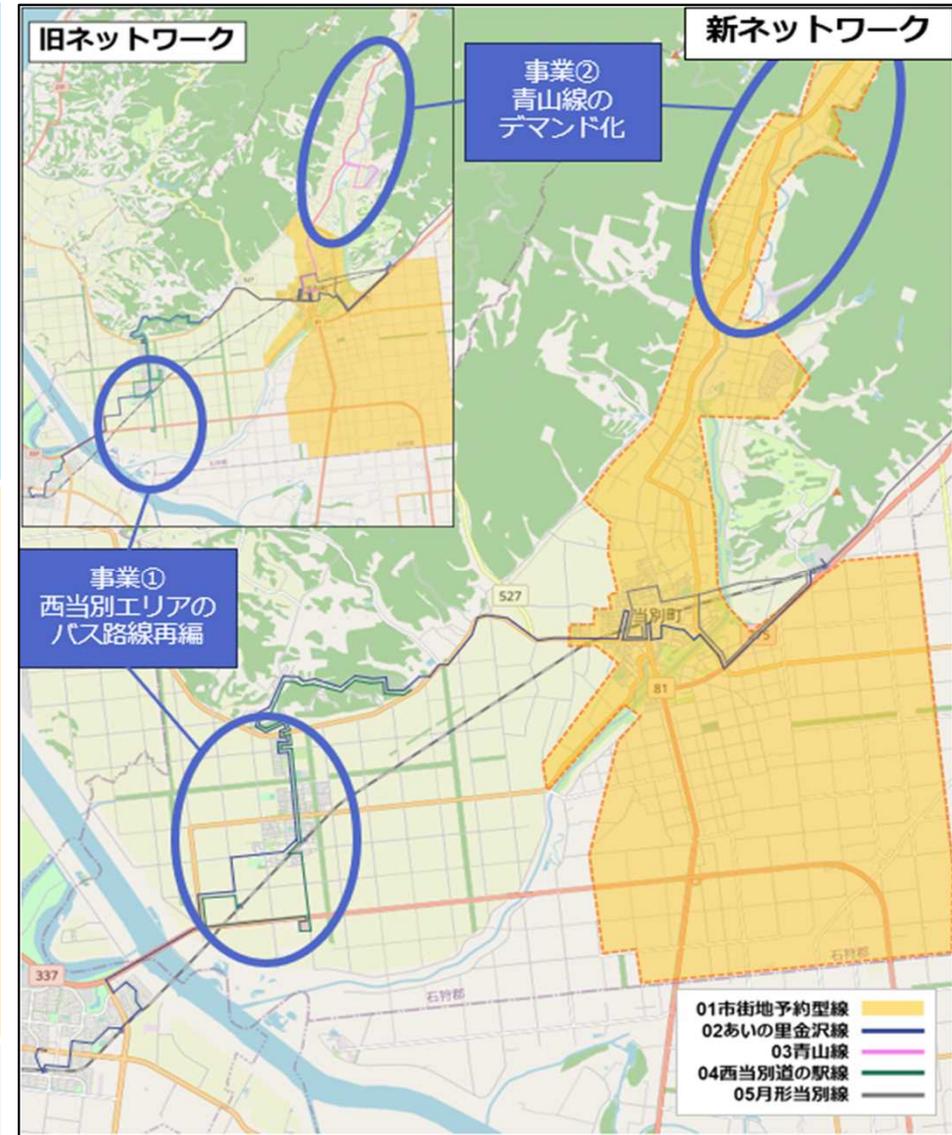
- 人口増加やJR新駅、観光施設などの新たなニーズに対する移動手段を提供
- 既存路線の一体的再編により、運行経費等のリソースの効率化と利便性向上の双方が期待される

### ②青山線のデマンド化

- 高齢化並びに人口減少が進む地域の特性に対応したサービスへの転換により、利便性が高く効率的なサービス提供の持続性が確保

### ③キャッシュレス決済の導入

- キャッシュレス決済の導入により運賃支払いが円滑化し、既存利用者の利便性向上と新規利用者の獲得に期待



作成自治体 北海道当別町 事業実施区域 当別町全域  
 事業実施予定期間 令和6年4月~令和10年3月